

第7章 河川空間の現状

7-1 河川敷等の利用の状況

安倍川の高水敷は、河口から 11 km 付近までが静岡広域都市計画において安倍川緑地に指定されており、静岡市により公園・グランド等として整備されている。

高水敷の利用形態は、ほとんどが散策あるいはスポーツ等に利用されており、身近なレクリエーションを楽しめる場・憩いの場として重要な位置を占めている。

また、安倍川の広大な河川空間を利用した花火大会は毎年7月に行われ、広い高水敷は花火見物に利用されている。



安倍川花火大会

安倍川の花火大会は、江戸時代後半頃から既に駿府の夏の風物詩だったようである。安倍川の広大な河川空間を利用して行われ、広い桟敷席で見ることができる。



緊急用河川敷道路

(安倍川6.5k付近左岸)

震災時には、東西に走る鉄道や道路を南北に結ぶ緊急用道路として、人員や救援物資を円滑に運搬する。また、平常時には、地域住民の方がジョギングや散歩、サイクリング等で川に親しみのもてる空間を提供している。

親水公園 (安倍川5.0k付近左岸)

高水敷上の親水公園は、流域内の人々が川と親しみ、憩いの場となっている。

図 - 7.1 静岡広域都市計画図

(平成13年3月：静岡市)

7-2 河川の利用状況

安倍川、^{わらしな}藁科川直轄管理区間の高水敷で占用許可を受けている区域は130.3haであり、その構成は、公園・緑地(約52%)、運動場(約44%)、田畑(約4%)となっている。

利用形態は、スポーツ・散策等がそれぞれ4～5割程度を占め、水遊びや釣りは合わせて1割程度となっ

表 - 7.1 高水敷の占用許可面積

	公園・緑地	運動場	田畑	合計
面積 (ha)	67.7	57.7	4.9	130.3
割合 (%)	52.0	44.3	3.7	100.0

出典：「報告様式7 土地占用の処分に係る面積等報告」
(平成15年4月30日現在 中部地方整備局静岡河川事務所)

ている。利用場所としては、高水敷利用が6割以上の大部分を占めている。

また、安倍川の高水敷は、一次及び拠点避難地域として指定されており、いざという時に備え、「緊急用河川敷道路」の整備を行うなど、都市防災区間としての位置付けも高くなっている。

表 - 7.2 安倍川における年間の河川空間利用状況

区分	項目	年間利用者数 (千人)		年間利用状況の割合	
		平成9年度	平成12年度	平成9年度	平成12年度
利用形態別	スポーツ	871	886		
	釣り	103	142		
	水遊び	170	192		
	散策等	1,114	1,257		
	合計	2,258	2,477		
利用場所別	水面	28	27		
	水際	246	307		
	高水敷	1,376	1,620		
	堤防	608	523		
	合計	2,258	2,477		

* 出典：「河川空間利用実態調査報告書」

その他、安倍^{わらしな}藁科川内水面漁業共同組合による漁業権が設定されている。



水遊び (安倍川17.0k付近左岸)
水辺に近づきやすく水遊びの風景が見られる。



アユ釣り (安倍川4.0k付近右岸)
安倍川、藁科川では、市街地周辺で身近にアユ釣りが楽しめる。

